

市民参加型まちづくり1%システム（平成31年度2次募集）審査結果

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	備考
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
1	新規	弘前市立福村小学校後援会	子どもの安全・安心サポート事業	これまで子どもたちの安全・安心をサポートする事業を行ってきたが、統一したベストを着用することによって、多くの地域住民が子どもたちを見守っているという姿を、子どもたち自身や地域の方たちにより一層印象づけることにも、見守り活動への参加者の増加や、防犯意識の高いまちづくりへとつなげていく。	105,000	81.3	-	○	105,000	
2	新規	一般社団法人 弘前文化財保存技術協会	文化振興事業「第1回 金魚ちょうちんと金魚ねぶた交流事業」	弘前ねぶたを手本にして作られ、地域の特産品となった山口県柳井市の「金魚ちょうちん」を広く市民に知ってもらうため、金魚ちょうちんと金魚ねぶたの展示会・ミニ製作体験や講演会等を実施する。金魚ねぶたの由来・沿革、製作過程と他地域への展開や、柳井市の金魚ちょうちんへの思いを知っていただき、2つの地域の交流や伝統文化を大切にすることを機運醸成につなげる。	435,000	76.3	-	○	435,000	
3	継続	十面沢お山の会	十面沢お山の会（お山参詣）	十面沢地区で、五穀豊穡を祈願する伝統行事として行われてきたお山参詣を引き続き実施する。準備段階からお山参詣への参加を地域に呼び掛けるほか、次世代にこの行事を継承していくためにも、子どもたちを巻き込み、囃子の練習や旗づくりに参加してもらうなどして町内を活性化させる。	397,000	78.7	-	○	397,000	
4	新規	特定非営利活動法人 ありんこ	ありんこまつり	障がいがある人もそうでない人も一緒に楽しむことができる縁日のような祭りを開催する。祭りを多くの人に知ってもらい、参加してもらうことで、障がい児には普段なかなかできない体験をして楽しんでもらい、健全者には一般社会には障がい児があることが普通で、自然に声をかけ、手を差し伸べることができる社会をつくる一助とする。	110,000	72.0	-	○	110,000	
5	継続	大開町会	大開町会納涼祭り	地域住民同士の親睦をより一層深め、まちづくりの基本となる団結心を育むため、納涼祭りを開催する。祭りがあることを、これまで通り子ども達の手作りポスターで知らせるほか、のぼりを町会内に立てて、より多くの人の目に届くよう周知を強化したり、若い世代に子どもゲームコーナーを企画・運営してもらうことで、若い層が納涼祭りに参加するよう促し、多世代の交流を図る。	100,000	71.1	-	○	100,000	
6	継続	DOG FES IWAKI 実行委員会	DOG FES IWAKI 2019	愛犬と暮らす地域環境を少しでも良くするため、愛犬家と楽しみ、学ぶ場として、DOG FES IWAKI2019を開催する。ドッグランや、しつけ教室などのワークショップ、ミニゲームなどを通して、犬と外で遊ぶために必要な、人と犬との関係性やマナー、しつけについてや、命の大切さを知ってもらう。	500,000	77.3	-	○	500,000	
7	新規	弘前 スペイン・ラテンアメリカ交流協会	弘前 サンポーニャ・ワークショップ&コンサート	南米アンデス山地の民族楽器である「サンポーニャ」に触れてもらい、音の面白さや魅力を多くの市民に伝えるためのワークショップやコンサートを開催する。ワークショップ受講者には、サンポーニャの製作と演奏を行ってもらい、招聘講師とともにコンサートで演奏するといった一連の流れを体験してもらう。また、コンサートを広く市民に聞いてもらうだけでなく、体験コーナーを設けて珍しい楽器に触れてもらい、地域の文化振興に寄与する。	482,000	57.5	-	×		(審査委員会の主な意見) ・普段触れることの少ない海外の文化に触れることができ、世界観が広がることは理解しますが、多くの市民に関心を持ってもらい、巻き込んでいくためのアピール方法をより工夫していただきたい。 ・他の活動とも接続させながら、将来のビジョンを具体的に描いていただきたい。
8	新規	特定非営利活動法人 マザーフィールド	「スマイル up ルーム(仮)」	個食やひとりでの勉強をする傾向になりがちなひとり親家庭の子どもたちに、みんなで食事をし、勉強する機会を提供し、食育と教育の両面から子どもたちをサポートする。事業を通し、子どもたち同士だけでなく、大学生やボランティアなどの多世代の方と交流することで、豊かな人間性や社会性を育むことへとつなげていく。	273,000	74.9	-	○	273,000	
9	新規	はなまる 発達障がいを持つ子の親の会	グレーゾーンと言われる子や発達障がいを持つ子の親の会としてのサークルを中心とした活動	発達障がいの子やグレーゾーンと言われる子を持つ保護者同士が話をしたり、学ぶためのコミュニティの場を創出する。交流や情報交換を通じて悩みを抱える保護者を減らすとともに、医療、教育、福祉などの相談機関へつなげられる仕組みづくりを目指す。	258,000	78.3	-	○	258,000	
10	継続	弘前市防災マスター連絡会	弘前市民への防災力・減災力の向上推進隊 パートⅡ	県内でも「自主防災組織」の結成率が低い弘前市において、防災組織の必要性を呼びかけ、防災組織率の向上に寄与するため、市民向けの研修会やカルチャロードでのPR活動、また町会で自主防災組織についての出前講座を行う。「災害は突如起こる」ことを強く訴えていくことで、いざという時の共助の大切さを知っていただき、自主防災組織結成につなげる。	277,000	77.3	-	○	277,000	
11	継続	“わ”と“な”の生き生きサークル実行委員会	“わ”と“な”の生き生きサークル4	大成地区と三大地区、城東地区にて、高齢者を対象に体操や体力測定、さまざまなトレーニングを取り入れたサークル活動を行う。地域で開催することによって、気軽に参加していただけるような環境をつくり、各地区に活動を根付かせていく。	141,000	78.3	-	○	141,000	
12	継続	大沢サマーフェスティバル実行委員会	大沢サマーフェスティバル	これまで実施してきたサマーフェスティバルを引き続き開催し、午前は防災マスターによる講演会を行い、地域住民の防災意識をより強く持ってもらうほか、班ごとの住民情報を掲載した冊子を作成・披露する。午後は、露店や獅子踊りの披露などが行われる祭りで交流を深めてもらうことで、お互いの顔が見える関係を作り出し、地域の活性化につなげる。	332,000	74.9	-	○	332,000	
13	継続	楽しいね!!東目屋実行委員会	東目屋地区・多賀神社の清水大祭と共催する夏祭り	地域住民に親しまれている多賀神社の清水大祭にあわせて、東目屋地区全体の住民が一体感を深められ、地域外にも東目屋をPRできる祭りを開催する。昨年からの引き続き、ねまり相撲の大会を開催するほか、一代様である「ねずみ」のメイクや、ねずみのスプレーアートの実演、ねずみ灯籠の展示をし、地域内外にPRすることで、東目屋に住むことへの自信と、地区外への魅力発信につなげる。	500,000	79.8	-	○	500,000	

市民参加型まちづくり1%システム (平成31年度2次募集) 審査結果

番号	新規 継続	団体名	事業名	事業内容	補助金申請額 (円)	採点結果 (不採択…合計60点未満、 または各審査項目3点未満)		採択の可否 採択…○ 不採択…×	採択金額 (円)	備 考
						合計得点 (平均)	3点未満の 審査項目			
14	継続	弘前アートプロジェクト実行委員会	「ひろさき美術館4」	土手町の中央食品市場や弘前鉄道大鰐線中央弘前駅構内の「ギャラリーまんなか」にて、市出身の写真家・長部誠氏が約30年前の弘前の街並みや公園を撮った写真と現代作家の作品を同時に展示し、昔と今の弘前の良さを感じてもらえる展示会を開催する。また、2つの会場を同時開催することにより、まちなかの回遊性を高める。	392,000	67.8	-	○	392,000	
15	継続	あおもりCAPの会 中弘南黒地区	子ども達にCAPを届けよう 副題「あなたは大切なひと」	教育現場、行政関係者、保護者、地域の大人に、いじめや暴力防止のための1つの方法としてCAPプログラムがあることを知ってもらい、いじめ・暴力防止に対する共通認識を持ってもらうため、市内4カ所において公開ワークショップを実施する。	375,000	51.2	-	×		(審査委員会の主な意見) ・「子どもを様々な暴力から守る」というテーマで、地域の大人を対象とした啓発活動を行うことの重要性は理解しますが、上部団体の講師を招聘しなければ公開ワークショップを開催できないという手法やシステムで申請を続けることに疑問が残ります。 ・資料代程度の参加費を徴収するなど、収入を得るための工夫をいただきたい。
16	継続	特定非営利活動法人harappa	harappa映画館	中心市街地を会場として、洋画・邦画・ドキュメンタリー・アニメーションと、弘前では上映されていない近年話題の作品を上映する。上演終了後には、メディアリテラシーを育む取組として監督によるシネマトークも併せて行う。中心市街地において映画上映の機会を設けることで、地域との連携を高め、街中の賑わい創出に寄与する。	500,000	76.0	-	○	500,000	
17	新規	松原小学校保護者と教師の会	松原小学校児童のねぶたをとおした伝統文化の継承と地域活性化	松原小学校の創立40周年をきっかけに、地域で長年行われてきたねぶたに小学校の5・6年生を中心に参加させてもらう。子ども達がねぶたの制作や囃子の練習、合同運行を体験することを通じ、弘前ねぶたについて知ってもらい、愛着を持ってもらうだけでなく、各町会や各団体と連携を強め、地域の活性化にもつなげる。	218,000	73.3	-	○	218,000	
18	新規	ムーンライトシネマフェス実行委員会	ムーンライトシネマフェス	シャッターが閉まった店舗が増え、以前よりも活気が失われつつある土手町に人を呼び、活性化させるため、土手町の中心にある蓮菜広場で映画の上映会を行う。老若男女が映画を見ながら土手町で楽しい時間を過ごすことで、まちの魅力を再認識してもらい、まちに誇りを持つことへの動機を生み出す。	476,000	73.1	-	○	476,000	
19	新規	かくみ小路村 村会	かくみ小路の職人が教えるキッズ調理実習	100年近く親しまれてきたかくみ小路を通行する人が近年減少傾向にあることから、小路の賑わいを創出するために、かくみ小路で営業するうちの3店舗の職人が調理講師となり、親子を対象とした調理実習を開催する。それぞれの店内で1種類ずつ料理を作り、調理を通して親子がコミュニケーションを図る機会を創出し、小路の店舗で講師を務めることで小路の士気を向上させる。	128,000	72.4	-	○	128,000	
20	新規	みらいねっと弘前	子どもの生きる力を育てる「こども農業部」事業	食べることは生きていくうえでの基盤となる大切なものであることから、子どもにその原点となる農業体験を実施する。「農作物の栽培・収穫・調理を通して食べ物に触れる」「味覚・触覚などの五感で食べ物を味わう」などの体験を通じ、子どもたちの食に対する理解と関心を高めていくとともに、豊かな感性や心を育むことへもつなげていく。	445,000	69.1	-	○	445,000	
21	継続	子育てババママ楽習会運営委員会	子育てが楽しくなるババママ楽習会	楽しく子育てをするひとつのきっかけとして、講師を招いて「楽習会」を開催し、心理学をベースとした考え方(理論)や親子の具体的な関わり方を学ぶ。また、構成員による「ぶち楽習会」を「楽習会」に昇格させ土日に開催したり、インターネット中継で講師との質疑応答を可能にすることで、子育て中の親と子どもが、ともに笑顔でいられる環境や仲間づくりの一助とする。	426,000	66.3	-	○	426,000	
22	継続	岩木山観光協会	岩木山エコプロジェクト	岩木山は美しい山であるのに、不法投棄が後を絶たない。岩木山麓での不法投棄の回収活動を実施するほか、エコフォーラムの開催や写真展などの啓蒙啓発活動に力をいれることにより、弘前市民の環境問題に対する意識の向上とエコ活動の浸透を図る。	500,000	91.0	-	○	500,000	
合計					7,370,000			採択：20事業 不採択：2事業	6,513,000	

審査項目

公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる